

人 チーム 制度



日本で働く海外出身の女性技術者へ！
子育てにやさしい制度・環境に支えられた
産休・育休後の円滑な復職

チュウ サイサイ
(株) 建設環境研究所 曲・賽賽さん

今回ご紹介するのは(株)建設環境研究所 環境計画部に所属する曲賽賽さん。海外出身の女性技術者として、部内メンバーと密なコミュニケーションをとりながら、産休・育休後の変化を踏まえた新しいワークライフバランスを創り出して、円滑な復職を図りました。

プロフィール

氏名 : 曲 賽賽(35)
所属 : (株)建設環境研究所
環境計画部
勤続年数 : 5年目
役職 : 環境計画部 研究員補
資格 :
・自然再生士補 (H25.12)
・技術士補 (H27.4)
・2級ビオトープ計画管理士 (H29.2)

簡単な自己紹介。

私は2006年に留学生として来日し、2012年までに日本の大学で観光及び造園を研究しました。大学で学んでいた専門を活かしたいと思い、その年から株式会社建設環境研究所環境計画部で仕事を始めました。その後、結婚と出産を経て、一年半の産休・育休を会社から頂き、2017年6月から復帰しました。

海外出身の女性技術者として日本の建設コンサルタント業界に務めて感じた事をお教えてください。

・正確なコミュニケーションの難しさ

仕事の内容について大変興味を持っておりますが、いざ正確にかつ日本語で自分の考えを他人に分かりやすく伝えようとする、思い通りに行かないことが多々ありました。自分の同僚や客先に、自分の説明が理解もらえるようにするために、考えを整理しておいてから、あるいはいくつかのポイントに絞ってから説明する、ということを中心掛けています。

・自己研鑽の大切さ

私は学部時に日本語を専攻としていましたが、学部時の基礎知識が不足しており、業務遂行時に苦しい思いをしたことがよくあるため、専門知識に関する勉強をしつづけています。

まず、資格の受験勉強は業務と合わせて進めることが大事だと感じました。現段階で係わっている業務内容に近い資格を受験対象とし、業務執行中に勉強した内容に触れる機会があったり、勉強中に業務で検討の項目が出てきたりして、お互いに相乗効果が果たせたと感じます。

・子育てしながら仕事する上での体験談

仕事してから3年目に妊娠したため、一人前の技術者になれていない内に、家庭と仕事の両立をしなければいけないと思い、悩む日々がありました。幸い、職場の上司や先輩に深く理解され、子育て中の先輩が常に相談する相手になってくれて、子育ての悩み事等、何でもアドバイスをくださって大変感謝しております。良い環境に恵まれている自分が幸運に思います。

現在は国の親が日本に来て、子供のお世話を手伝ってくれています。現在は勤務時間を抑えて仕事していますので、如何に決められた時間内に業務を終わらせるか、常に考えています。まだ現状では業務に追われ、計画が捗らないことがよくありますが、以下のことを心掛けております。

- ①事前に業務内容の実施手順を考えておく
- ②集中力を高めた状態で仕事をする
- ③仕事と家庭、両方のスケジュール確認と調整

海外出身の技術者及びこれから産休・育休取得の技術者への一言

言葉の壁や子育ての大変さに対しては挑戦する気持ちで、一步踏み出すと、それまで気付かれなかった、もう1人の自分がきっと見つかるはず。一緒にがんばりましょう。



楽しく子育てに奮闘中